

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校

評価実施日		平成23年2月10日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	勝田 昇	元中島町教育委員会教育長	
	山本 祥平	自営業(農業)、元中島町消防団長	
	田口 栄子	福祉介護事業経営	
	森 健	中島中学校長	
	寺本 仁志	P T A会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 生徒指導</p> <p>ア 生徒が伸び伸びしている。また、公園で出会ったとき元気良く挨拶をしてくれ気持ち良かった。</p> <p>イ 港の待合室で生徒一緒になるが、高校生らしい姿である。先生方のきちんとした指導の成果であると思う。</p> <p>ウ 近年新入生が多いが、年度末はやや減少しているのではないか。入った以上は卒業させるてほしいと思う。</p> <p>エ かなり以前に問題行動で多くの生徒が退学したことがあった。地元の間が隠そう隠そうとしたのが問題であったが、このようなことがないよう情報を伝えていきたい。</p> <p>(2) 進路指導</p> <p>ア 不登校傾向の生徒が多い中で進学や就職のいい結果を出しているのはすばらしい。</p> <p>イ 就職難であるのに就職希望者の内定は比較的良好で、頑張った様子が分かる。</p> <p>ウ 生徒の成績面で見ると上から下までその差はかなり大きいと思うが、そんな状況の中で進学のいい結果(四年制大学国公立2名、私立大学3名)を出しているのを見ると、中学校からも分校に進学させたいと思うし、地元の保護者にももっとアピールしていきたい。</p>	<p>・生徒自己評価で76%があいさつができていると回答しているが、教職員からも積極的に声かけを行う。</p> <p>・諸活動を通して、ルールやマナーなどにつてすべきこと、してはならないことなどを判断し行動できるように随時指導する。</p> <p>・中学校で不登校傾向にある生徒が半数近くいるのが現状である。その状況で入学後自分に合っているかやらせてみる。そのような生徒はできる限りサポートしながら頑張らせたい。</p> <p>・地域との繋がりをより深めるために、学校からも地元や保護者の方に生徒の様子などの情報提供を呼びかけていく。</p> <p>・今後も各学年の進路研修会等を継続し、各生徒の適正や能力を把握していく。また、生徒一人一人に対応した情報の収集と適切な情報提供ができるよう個人面接の充実を図っていく。</p> <p>・学力差の幅が大きくなってきているが、少人数による授業等により、生徒の理解度や能力の把握に努める。また、大学進学を希望する生徒には個別指導などを通して学力を強化していく。</p> <p>・進路状況を分校通信等により積極的に中学校の保護者や地元の方にも伝えるようにしていく。</p>
<p>2 説明・公表について</p> <p>自己評価について、良いところだけでなく悪いところもきちんと公表してくれている。全部隠すことなく公表してくれると気持ちが良い。</p>	<p>・評価結果等の公表については、今後も分かりやすいものになるように整理する。分校通信やホームページを活用して、学校の教育活動等をより理解してもらうように工夫する。</p>
<p>3 学校経営への提言</p> <p>(1) 評価項目の中で、学年が上がるにつれて悪くなっている傾向があるものについては改善する必要がある。</p> <p>(2) 学校評価の保護者アンケートの回収率はどれくらいで、どのような方法か教えてほしい。</p>	<p>・生徒の生活状況や学習等の取組がおろそかになってしまわないよう、適時生徒の状態を把握し、上級生についても手厚く指導を行いたい。</p> <p>・回収率は78%で、三者懇談会の待ち合わせ時間の前後を活用している。担任から保護者への声かけも継続し意見をできるだけきけるように努める。</p>